

国際ロータリー第2580地区（東京・沖縄）

東京武蔵村山ロータリークラブ

Tokyo-Musashimurayama Rotary Club

週 報 No.1658

2005—06年度 国際ロータリーテーマ 「超 我の奉仕」 RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

国際ロータリー 第2580地区

2005-06年度ガバナー 古宮 誠



東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

「協調性あるクラブ活動を」

第34代クラブ会長 後藤 正次

4月は雑誌月間です。

SERVICE Above Self

本日の例会
全員クラブ協議会

第1659回
例会
2006. 4. 5

次回例会案内【4月12日(水)】
卓話 見延 壽昭 会員

第1658回例会報告（2006年3月29日）

司会 比留間 重次 SAA委員

点 鐘 （後藤 正次 会長）

斉 唱

それこそロータリー
（ソングリーダー 峯岸 一郎 会員）

来客紹介 （後藤 正次 会長）

○ ビジター
曾我部 岩雄 様（立川RC）

出席報告 （見延 壽昭 出席委員長）

会 員 数	出席者数	出 席 率	前々回出席率修正
32名	23名	75%	78.13%→81.25%

- 事前メーキャップ
藤野 豊 会員 → 沖縄IM
- メーキャップ（第1656回）
石井 賢司 会員 → 立川こぶしRC

卓 話

『水と健康について』
石井 賢司 会員



会務報告 （後藤 正次 会長）

- 社会福祉協議会より「こもれび」を頂きました。

幹事報告 （原田 友義 幹事）

- 例会場名称変更のお知らせ
・ 那覇東RC（4月1日より）
「ホテル ロイヤルオリオン」
住所、電話番号、例会日等の変更はありません。
- 例会変更
東村山RC 4月6日 → 移動例会 17:30 魚観荘

委員会報告

- なし

◇ 創 立 1972年7月8日 ◇ 承 認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会 長 後藤 正次 ◎ 幹 事 原田 友義
○ 副会長 小野寺 一昭 ○ 副幹事 芦川 征史
□ 会報雑誌委員長 比留間 孝司 副委員長 野島 征
委 員 渡辺 洋司 宮崎 茂夫

◇ 例 会 場 西武信用金庫・村山支店2階
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
◇ 例 会 日 毎週水曜日 12:30~13:30
◇ クラブ事務局
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp



1. はじめに

水に関する研究をはじめて21年。もともと私は府中にある叔父の会社で就業していましたが、昭和61年頃現在の事業の創業となりました。試行錯誤、暗中模索が続きましたが、ここまでやってこれました。残念ながらロータリーを退会された堀さんなどのご理解も得られませんでした。『石井さんだからやれたんだ』という声もきかれますが、ここまで続けられたことに感慨があります。

自然の摂理の素晴らしさ。あらためて言うまでもありませんが、人間も地球環境の一部として存在するわけですが、水に関する研究を続けることでその実感をさらに強めました。地球の自転などは普段はなかなか実感することないでしょうし、先輩から聞いた話ですが、海外に打ち寄せる波の回数の人間の健康な体温・脈拍数などとの関係といった、自然の摂理のもつ深さはまさに研究を通じて得られた実感です。

2. 水の大切さ

水資源として。先般の京都議定書の際にも問題となりましたが、世界レベルでの水資源の枯渇は大変深刻な問題です。雨が降らない、貯水池が空になるといった状況がより進んでしまうのか、今のところは私たちはなす術なくありますが、状況の深刻さの検討を含め真剣に考えるべきでしょう。

生命の維持機能として。ここが私の水に関する研究の基点ともなるわけです。日本でさえ最近では水質の劣化がいわれ、その改善にかなりのお金が投じられてきました。ただ東南アジア諸国ではさらに深刻であり、皆さんもご経験がおりかかもしれませんが、うっかり生水を口にするとう痢になってしまうように細菌がたくさん含まれているのです。日本は島国でまだ水には恵まれているはずですが、近頃はミネラルウォーターが大変人気を呼びようになりました。こんな現状から水の『改質』を図ろうとするのが私の研究事業なのです。



ニコニコBOX (田中 伸彦 親睦副委員長)

☀ 曾我部岩雄様(立川RC)⇒メイクアップよろしく。

◆ 今回計 2,000円 累計 1,404,500円

3. 水の改質装置(HIET)を開発して

この装置により、水の改質を図り、作物を耕作したところ、大変成果をあげることが出来ました。現にこれによるトマトは「あんなおいしいトマトは食べたことがない」と当クラブの見延会員からも褒めて頂き忘れる事が出来ません。その後日本全国の方々に利用して頂くに至りますが、最近では大手のお取引先には農業の応援資材として利用して頂く例が目立つます。

4. 日本農業の応援資材として

過日、栃木県の二宮町というところ取材の同行というかたちで伺いましたが、そこでのイチゴの生産では改質装置が大変成果をあげておりました。もともと『日本農業新聞』のデータなどでもイチゴの生産収益性の高さは立証されてはいたのですが、この改質装置と当事者の研究熱心さがさらに成果をあげさせたのだと思います。お陰様でこうした事例のあるように私の会社の業績も創業4年目にして黒字化されました。

5. 病気を経験して学んだ事

先程もお話しましたとおり、私たち人間にとって水はとても大切なものです。家畜や農作物について水の改質の有用性があっても、人間自身に成果がなければと思います。そこで私の会社の社員について平成16年7月に使用前・使用後の成果比較ができる臨床例をまとめました。また私自身についても昨年11月に行いましたQRSによる放射線障害の追跡測定の結果を資料として配布しますので是非ご参考までにご覧下さい。

私自身がガンの診断を受けたのは平成9年のことです。

当時仕事のストレスもあり体重もかなり減っておりまして。しかし切除手術はせず、お世話になった方のアドバイスを頂きつつ、改質後の水をとり続けました。そのせいか悪性腫瘍の影がなくなりました。あらためて生活の節制の重要性、そして従来の医療にない代替医療の意義を再認識いたしました。

◆参考資料 ハイエット水引用前後のQRS測定結果

	免疫機能		ストレス		自律神経系		NK細胞		マイファージ	
	B222		E222		C536		R607		A625	
	前	後	前	後			前	後	前	後
Y.Uさん 35歳 男性	10	17	-3	0	7	17	-2	16	5	17
M.Kさん 37歳 男性	15	18	-3	-2	9	-3	8	7	13	17
T.Yさん 55歳 男性	7	16	-5	3	14	18	10	16	-3	15
K.Kさん 18歳 男性	15	15	-4	8	-2	15	9	13	10	16
H.Uさん 32歳 男性	10	18	-2	11	15	16	-2	15	-1	18

[卓話担当・恒望閣 孝司]

